

令和6年度

第1回志摩市総合教育会議

# 1. 防災・減災教育の推進

---

### 1. 令和5年度までの学校での取組

- ①防災袋の取り組み
- ②体験型学習
- ③防災の専門家の指導

※防災ノートを活用した防災学習は計画的にすべての学校で進めている

### ①防災袋の取り組み

市内の全小中学校において、防災袋を購入し、各家庭と連携し、防災学習を行った。

発災時の備えになることはもちろん、防災袋の中身を考えたり、各家庭で準備をすることを通して、児童生徒、そして、保護者の防災意識を高めることにつながった。

### ②体験型学習

体験を通じた防災学習を行うことで、より実感を伴って防災への知識や技能を身につけることにつながった。

- タウンウォッチング
- HUG(避難所運営ゲーム)
- 地震体験車 など
- 地域と連携した防災学習

# HUG (避難所運営ゲーム)



# タウンウォッチング



# 地域と連携した防災学習 (地域の防災訓練に参加 畔名)



### ③防災の専門家による指導

各小中学校の避難訓練の際に、防災危機管理室の防災技術指導員の矢吹さんや永田さん、三重大大学の川口淳教授に様子を見ていただき、「タウンウォッチング」や「HUG」、「MYマップラン+」等の指導を受けたり、防災講話をしていただいた。

# 三重大 川口教授によるMYマッププラン+の授業



## 2. 令和6年度からの志摩市学校防災事業

- ①体験型学習の継続
- ②防災の専門家による指導の継続
- ③危機管理マニュアルの見直し
  - ・安否確認の方法の確立
  - ・すぐーるの活用方法の確立
  - ・引渡カードの見直し

※これまでの取組を継続しながら、「避難した後にどのように行動するか」という観点での防災教育を進めていく必要がある。

- ③危機管理マニュアルの見直し
  - ・「すぐーる」の活用方法の確立
  - ・安否確認の方法の確立

発災時に、保護者へ「すぐーる」で連絡をする際の具体的に発信する情報や、収集する情報を整理していく。

また、安否確認の方法を見童生徒・保護者と共有するなかで防災意識の向上につなげていく。

### ※「すぐーる」で連絡がつかない場合の方法も確立する

- 各家庭や保護者の携帯電話へ電話をする。
- 災害用伝言ダイヤル(171)に録音をする。各学校の電話番号で行う。
- 家庭訪問(可能な状況であれば)
- 避難所への巡回(可能な状況であれば)
- 学校入口への掲示
- 避難所への掲示

### ・「引渡カード」の見直し

これまでに作成している「引渡しカード」を見直す作業を通じて、児童生徒、保護者への啓発につなげていく。

※登下校中の避難場所も記入する。

※引渡し方法を考慮する(暴風時・地震時等)。

### 3. 今後の取組

- ① 避難タワーを活用した訓練
- ② 地域と連携した防災学習の充実（園小中高・自治会等）
- ③ 志摩小中学校の高台避難と、避難後の動き
- ④ 小中学校施設の避難所利用について
- ⑤ 防災ハンドブックの配布
- ⑥ 総括

# ⑤防災ハンドブック の内容



志摩市

中・高校生のための

## 防 災 ハ ン ド ブ ッ ク

学 校 名

学 年                      年

名   前

住   所

電   話

生年月日                      年                      月                      日

血 液 型

### 1. 自然災害から身を守ろう

地震や土砂災害、洪水など、ふだんから気象情報をよく聞き、自然災害に備えましょう。

#### (1) 地震のとき



##### ①建物の中にいるとき

○物が落ちてきたり、倒れてくるところから離れて、頭を守りましょう。

○丈夫な机やテーブルの下に入り、机が倒れないように机のあしを押さえましょう。

○窓や扉を開けて、逃げる道をつくりましょう。

○逃げるときは、あわてず、落ち着いて行動しましょう。

##### ②外にいるとき

○建物のガラスや、看板が落ちてくるかもしれないので、バッグなどで頭を守り、丈夫な建物へ避難しましょう。



○電車やバスなどの乗り物の中では、係員や運転手さんの指示にしたがいましょう。



※緊急地震速報の音を聞いたときは、あわてず身の安全を確保しましょう。



### (2) 津波や土砂災害に備えよう

○地震や台風、大雨の時には、津波や土砂災害に備えて、災害情報をよく聞き、早めに避難しましょう。

### (3) 避難するとき

○周囲の安全を確認しましょう。

○倒れている物や切れた電線には近づかないようにしましょう。

○物が落ちてくる危険があるので、バッグなどで頭を守りましょう。

○周囲の人のために自分ができる支援があれば、協力しましょう。

## 2. 非常持出品を用意しておこう

備えはできていますか？

チェックしてみましょう。

	水		ラジオ
	非常食		乾電池
	下着		手袋
	着がえ		貴重品
	懐中電灯		携帯トイレ
	雨具		マスク
	医薬品		ティッシュ

※他にどのような物が必要なのか、家族で話し合しましょう。




### 3. 家族の避難場所

家族で決めている避難場所を書いておきましょう。

--

### 4. 家族の連絡先

名 前

連絡先  
(携帯電話)

名 前

連絡先  
(携帯電話)

名 前

連絡先  
(携帯電話)

名 前

連絡先  
(携帯電話)

覚えておこう

## 「災害用伝言ダイヤル171」

大きな地震がおこると、みんなが連絡を取ろうとして、電話がつながりにくくなります。そんな時に便利なのが「災害用伝言ダイヤル」です。自分のメッセージを録音したり、家族からのメッセージを聞くことができます。家族とはぐれてしまった時の連絡方法として、家族の人といっしょに使い方を覚えておきましょう。

【録音】

- 1 「171」にダイヤルする
- 2 「1」をダイヤルする
- 3 自分の電話番号、または連絡を取りたい人の電話番号を市外局番からダイヤルし、ガイダンスにしたがって録音する。

【再生】

- 1 「171」にダイヤルする
- 2 「2」をダイヤルする
- 3 安否情報等を確認したい相手の電話番号を市外局番からダイヤルする。

※家の電話や携帯電話が使えなくなることもあるので、家の近くの「公衆電話」のある場所と使い方を覚えておきましょう。

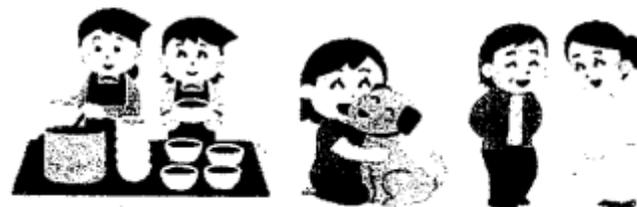
## 災害時のボランティア活動

大地震などの災害が発生したときには、さまざまな分野で、被災者への支援が必要です。

自分自身の責任と判断でできることから始めてみましょう。

【ボランティア活動の例】

- ・ 負傷した人の応急手当
- ・ 救援物資の荷下ろし、仕分け、配布
- ・ 避難所の清掃
- ・ お年寄りや体の不自由な人への介助
- ・ 炊き出しの手伝い 等



## 2. キャリア教育の推進

### 1. 小学校でのキャリア教育について

#### (1) 小学校でのキャリア教育のねらい

進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得
- 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

### (2) 小学校におけるキャリア教育

- ① 社会見学
- ② ゲストティーチャー
- ③ 水産高校との交流
- ④ 農業・漁業体験
- ⑤ その他

### ① 社会見学(含む修学旅行)

市内・県内・県外の暮らし・歴史・自然・文化等を学ぶ

#### <主な行先>

<市内> 支所・消防署・磯部浄水場・山田エコセンター  
真珠工場・大王埼灯台・大慈寺

<市外> 伊勢シーパラダイス・鳥羽水族館・海の博物館  
マスヤ・おやつタウン・Miemu・三重県庁  
鈴鹿伝統産業会館・鈴鹿サーキット

<県外> 清水寺・金閣寺・銀閣寺・二条城・法隆寺・USJ

### ② ゲストティーチャーによる出前授業

1～6年の各学年で地域の人を中心に講師に招いて、  
作り方やテクニック、生き方、考え方などについて学ぶ

#### ＜主なゲストティーチャー＞

1年生 地域の方を招き、鬼まんじゅう作り

2年生 地域の方を招き、きんこ作り

3年生 アウザーダンススクール

4年生 介護施設との交流

5年生 パラリンピアン加藤さん(あすチャレ)

6年生 カフェモク家具小林さん、CO.Blue.Center 東山さん

### ③水産高校との交流

水産高校のアクアフードコース・アクアデザインコース・  
機関コース・海洋コースの生徒がそれぞれ講師となって  
小学生(幼児・中学生)に様々な講義や実習を実施

- ・高校生講師のカツオのシーチキン缶詰作り
- ・高校生講師による海洋生物飼育体験
- ・高校生講師による彫金キーホルダー作り
- ・水産高校施設・設備・実習船「しろちどり」見学

### ④ 農業・漁業等学習・体験（含む生産者交流会）

#### ＜主な学習・体験＞

- 米作り                      しろかき・田植え・稲刈り・脱穀・餅つき体験
- きんこ作り                自分たちで芋を栽培し、その芋からきんこ作り
- 南張メロン                生産者を招いてメロン作りとその思いについて学ぶ
- オクラ                      生産者を招いてオクラ作りとその思いについて学ぶ
- 真珠工場見学              真珠の核入れ作業やあこや貝の管理について
- エビ網漁体験              漁師さんから地元の水産業について学ぶ

### ⑤ その他

- 法教育出前授業  
検察庁の方に来校いただき模擬裁判を通して法を学ぶ
- 租税教室  
税務署から講師を招き、税務署の仕事と税について学ぶ
- 志摩市の観光  
志摩市観光課から講師を招き志摩市の観光について学ぶ

### 2. 中学校でのキャリア教育について

#### (1) 中学校でのキャリア教育のねらい

現実的探索と 暫定的選択の時期

- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- 興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成
- 進路計画の立案と暫定的選択
- 生き方や進路に関する現実的探索

### (2) 中学校におけるキャリア教育

- ① ゲストティーチャー
- ② 職場体験学習
- ③ 未来づくり教室
- ④ ようこそ先輩・高校・大学見学

### ① ゲストティーチャーによる出前授業

主に1年生の時に、仕事内容の説明・職業選択の理由・地元で働く意義・中学生時代の話などをしていただき、職場体験学習につなげていく

- ・市役所職員・警察官・看護師・保育士
- ・旅行業・旅館業・パティシエ
- ・消防士(未来の消防防災を担う人材育成)

### ② 職場体験学習

2年生の春から秋にかけて2～3日間で実施

<主な受入先> 志摩市役所(含む支所)・消防各署・鳥羽警察署  
海上保安庁・志摩市民病院・志摩病院・郵便各局・市立図書館  
小学校・子ども園・保育所・ゆうゆう苑・大王動物病院  
近鉄・ネットヨタ・トヨペット・JA・漁協・真珠関連工場・龍宮・山下組  
スペイン村・グランドーム伊勢賢島・志摩観光ホテル・クインテッサ  
あじへい・ココス・モスバーガー・マクドナルド・ガスト・漣・かつ勢・らんぷ  
白楽天・長太屋・一番亭・エンゼル・満月堂・潮騒・おとべ・丸仙製パン  
わらしべ・しまむら・ゲオ・ファミリーマート・ローソン・ココカラファイン  
イオン・プラント・志摩海道・マックスバリュー・ぎゅーとら  
ZEAL(美容室)・アイリス(美容室)・CHAPT HAIR STORE

### ③ 未来づくり教室

志摩市政策推進部総合政策課から、志摩市の現状と今後の展望について話をいただいた後、志摩市内で活躍している職業人から仕事や生き方について学ぶ。

- 伊勢志摩リゾートマネジメント 栗山さん、奥田さん
- FOLK FOLK、CO.Blue.Center 東山さん
- イチゴ農家 岩崎さん

### ④ ようこそ先輩・高校・大学見学

- ・ ようこそ先輩

進路についての集会に、各高校へ進学した先輩たちを招き、各高校の様子や進路実現に向けての経験について話してもらう

- ・ 志摩高校・水産高校と交流（磯部中・志摩中）

- ・ 大学見学

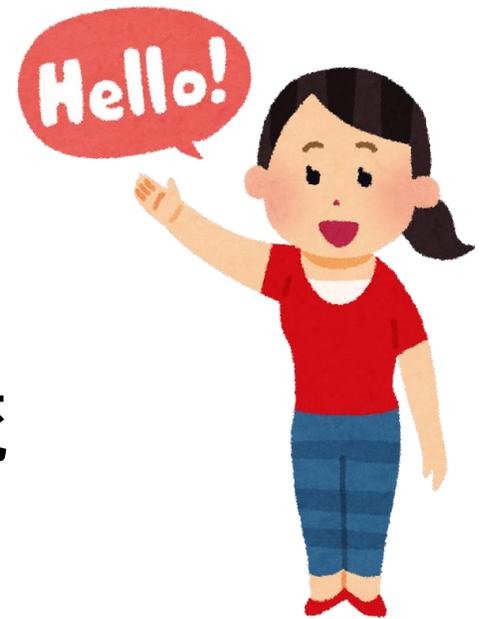
皇學館大学（志摩・東海・磯部中）、東京大学（磯部中）

- ・ 二十歳の集いからのメッセージ

### 3. 今後のキャリア教育の展開

国際感覚をもち、地元そして国際社会で活躍できる人材の育成

- (1) 中学生海外派遣事業
- (2) ALT・CIRとの出会い学習
- (3) 水産高校との交流
- (4) 外国籍児童生徒・保護者との交流
- (5) 里海トライアスロンでのスペイン選手との交流
- (6) G7における各国大使館との交流



### (1) 中学生海外派遣事業



- ①目的：外国の人々と文化交流することで、相互理解と信頼を深め、国際感覚と日本人としての自覚を持ち、国際化の進む地域社会に貢献できる人材を育む
- ②派遣先： パラオ共和国
- ③派遣人数： 市内中学生10人(各中学校から1名以上)
- ④日時 令和6年8月4日(日)～9日(金)

👉 今年度は昨年度より増員していただいたおかげで、各中学校から1人以上派遣することができた。

10人の派遣生が、今回のパラオ派遣で経験したこと、学習したことを各校の文化祭等で還流報告することで、パラオ派遣が志摩市の全中学校全体のものとなるようにしていく。

### (2) ALTとCIRの活用について

#### ALT(外国語指導助手)

- ・労働派遣契約(インタラック関西東海) 5名
- ・市の直接雇用(会計年度任用職員) 1名

すべての小中学校に配置されているALTに、どこの国からどのような思いを持って来日したか。また、今後の将来をどのように描いているか等、それぞれの「生き方」にスポットを当て児童生徒に話をさせていただく。

また、市のCIR(国際交流員)にも協力依頼、市内の学校へ訪問して児童生徒たちと交流。今年度もアメリカやタイについての国際理解に関する授業を検討・計画。

### (3) 水産高校との交流

今年度、水産高校は、実習船「しろちどり」が新しくなり、パラオへの乗船実習も再開する。

これまでも、機関コース・海洋コースの生徒が、それぞれ講師となり、小学生・中学生に様々な講義や実習をしていただいた。

乗船実習やパラオでの経験についても、小中学生に還流していただく機会を持つことで、世界への関心につなげていく。

### (4) 外国籍児童生徒・保護者や 帰国子女との交流

- ① 志摩市の小中学校に在籍している  
外国籍児童生徒・保護者との交流をきっかけに  
アメリカ・中国・韓国・タイに関心を
- ② 一時帰国時の帰国子女との交流をきっかけに  
スペイン・ニュージーランド・インドに関心を

### (5) 里海トライアスロンでの スペイン選手との交流

- ① 伊勢志摩里海トライアスロン大会への  
ボランティアとして参加
- ② トライアスロン選手の学校訪問

### (6) G7における各国大使館との交流

折り鶴による国旗をきっかけに

- ・フランス領事
- ・カナダ大使・領事
- ・アメリカ大使館員 が学校を訪問
  
- ・イギリス大使館 メッセージの交流

※今後も機会をとらえて各国の人たちとの交流の場を持っていく。

### G7における各国大使館との交流



# 令和6年度

## 第1回志摩市総合教育会議

報告は、以上となります。